

保健師教育（全国保健師教育機関協議会誌） 投稿規程

1. 筆頭著者および共著者の資格

筆頭著者は、本会員である団体（以下、会員校という）に所属している者、または賛助会員とする。但し、共著者や、編集委員会から依頼された原稿の筆頭著者についてはこの限りではない。筆頭著者および共著者は、投稿された論文の知的内容に貢献した者であり、全ての著者が論文の内容について承諾したこととする。

2. 原稿の種類

1) 原稿の種類は、原著、研究報告、活動報告、総説、その他であり、それぞれの内容は以下のとおりである。

【原著】独創的で、新しい知見が論理的に示されており、公衆衛生看護学、並びに公衆衛生看護学教育の知識の発展に貢献すると認められるもの。

【研究報告】知見が論理的に示されており、公衆衛生看護学、並びに公衆衛生看護学教育の知識の発展に貢献すると認められるもの。

【活動報告】公衆衛生看護活動、および公衆衛生看護学教育や事例の報告として意義があり、公衆衛生看護学、並びに公衆衛生看護教育の参考になると認められるもの。

【総説】公衆衛生看護学、並びに公衆衛生看護学教育に関わる研究・調査論文の知見の総括および解説。

【その他】公衆衛生看護学、並びに公衆衛生看護教育に関する見解、海外事情などで、編集委員会が適当と認めたもの。

3. 投稿原稿の構成

投稿原稿の構成については、原則として原著、研究報告、総説は表1のとおりとする。表1の構成以外の場合は、投稿時にその理由を記す。活動報告については、参考として表2に例を示す。

表1 原著、研究報告、総説の構成

項目	準ずる項目	内容
抄録		目的、方法、結果、考察にわけて、見出しをつけて記載する（構造化抄録）。和文抄録は400字以内、英文抄録は250 words以内とする。
キーワード		6語以内
緒言	はじめに	研究の背景、目的
方法	方法と対象、 材料など	調査、実験、解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方など
結果	結果	調査などの結果
考察		結果の考察、評価
結語	おわりに	結論（省略も可）
謝辞など		謝辞、当該調査への助成や便宜供与など
文献		文献の記載は原稿執筆の要領を参照

表 2 活動報告の構成 (例)

項 目	準ずる項目	内 容
抄録		目的, 方法, 結果, 考察にわけて, 見出しをつけて記載する (構造化抄録). 和文抄録は 400 字以内, 英文抄録は 250 words 以内とする. 英文抄録は省いてもよい.
キーワード		6 語以内
はじめに	まえがき	活動の背景や目標など, 活動報告としての目的
方法	方法と対象	活動の対象や方法
活動内容	活動結果	活動内容や取り組みの特徴, 活動の結果
考察		結果についての検討, 活動を通じて得られた知見, 課題, 他の活動に応用できる点など
おわりに	あとがき, 結論	今後の活動への示唆 (省略も可)
謝辞など		謝辞, 当該活動への助成や便宜供与など
文献		文献の記載は原稿執筆の要領を参照

4. 研究倫理

- 1) 投稿論文は, 他の出版物 (国の内外を問わず) にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る. 二重投稿は禁止する. インターネット上で全文公開されている内容 (機関リポジトリにおける学位論文の全文公開を含む) は, すでに発表されたものとみなす.
- 2) 人が対象である研究や報告は, 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(以下 URL 参照) にそって倫理的に配慮され, その旨が本文中に明記されている必要がある.
<https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>
- 3) 研究者が所属する施設などの倫理審査委員会の承認を得る. 倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は, 承認した倫理審査委員会の名称, 承認番号, 承認年月日を本文中に記載する.
- 4) 研究や報告全体を通じて, 施設や個人が特定されないよう個人情報の保護と, 知的財産権の保護に十分配慮して記述する.
- 5) 投稿論文の著者とは, 投稿された論文に重要な知的貢献をした者である. 著者の資格は, 以下の三点に基づく. (1) 研究の構想, デザイン, またはデータ収集, 分析, 解釈に重要な貢献があった. (2) 論文の作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した. (3) 出版原稿の最終承認を行った. 資金の獲得, データ収集, または研究グループへの部分的な助言のみを行っただけでは著者資格は認められない. 著者はすべて著者資格を満たし, 著者資格を満たす人物はすべてその名が列挙されていなければならない.
- 6) 投稿論文の作成に際し, 企業・団体などから研究費助成, 試料提供, 便宜供与などの経済的支援を受けた場合は, 謝辞などにその旨を記載しなければならない.

5. 原稿受付と採択

- 1) 投稿原稿は随時受け付けるが, 9月30日を締切りとし, その後審査を開始する.
- 2) 下記6の投稿手続きを経た原稿の到着日を受付日とする.
- 3) 受付日と到着順に付す受付番号とを, 投稿者に通知する.

- 4) 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。
- 5) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。
- 6) 投稿された論文は理由の如何を問わず返却しない。
- 7) 修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿する。返送から3か月以上経過した場合は投稿取り下げとみなし、新投稿として扱う。
- 8) 査読が複数回にわたる場合は、掲載が次期になる場合もある。
- 9) 採用決定後に所定の著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名して、編集係に郵送する。著作権譲渡同意書の提出確認後に掲載する。

6. 投稿手続き

- 1) 投稿原稿は、本文、図、表、写真、抄録などをすべて正1部、副1部を提出する。
- 2) 正本表紙には、表題、希望する論文の種類、原稿枚数、図、表および写真などの数、著者名、所属機関名、投稿論文責任著者の氏名・連絡先（所属機関、所在地、電話、ファクシミリ、電子メールアドレス）、キーワードを日本語で記載する（6語以内）。副本には著者名、所属、謝辞ほか投稿者を特定できるような事項を記載しない。但し、副本でも研究倫理審査委員会の承認を得ている場合は、委員会名・承認番号、承認日などを伏せ字にして、記載する。伏字を使用した際は、正本と行数が変わらないよう留意する。異なる機関に属する者が共著である場合は、各所属機関に番号をつけて氏名欄の下に一括して示し、その番号を対応する著者の氏名の右肩に記す。別に英文表紙をつけ、表題、著者名、所属機関名、キーワードを英語（日本語のキーワード数と同じ）で記載する。
- 3) 投稿時には、カバーレターを添付する。カバーレターには、原稿を他誌へ同時投稿していないこと、未発表であること、英文抄録（Abstract）のネイティブチェックを受けたことを明記する。
- 4) 投稿原稿は、電子メールにて以下のメールアドレス宛てに送付する。なお、1メールあたり10MBまで受信可能である。10MBを超える場合はオンラインストレージを利用して送付する。オンラインストレージの利用ができない場合は、編集係まで送付前に連絡する。

【原稿送付先・問い合わせ先】

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目27番地16 大学通信教育ビル5階中西印刷（株）内
一般社団法人全国保健師教育機関協議会機関誌 「保健師教育」編集係
E-mail : japhnei-ed@nacoss.com
TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

- 5) 投稿規程に従っていない場合は、原稿を受け付けない場合がある。
- 6) 改訂稿送付の際も電子メールにより受け付ける。

7. 著者校正

- 1) 査読を経て、編集委員会で受理された投稿原稿については著者校正を1回行う。
- 2) 著者校正の際の加筆は原則として認めない。

8. 著作権

著作権は本団体に帰属する。掲載後1年間は本団体の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。
なお、本団体の方針に基づき、データベースなどとして再利用することがあるので、同意の上、投稿する。

9. 著者が負担すべき費用

- 1) 掲載料は無料とする。
- 2) 別刷料はすべて実費を著者負担とする（別途参照）。
- 3) 図表など、印刷上、特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

10. 附則

この規程は、2017年5月13日から施行する。

2018年5月12日一部改正。

2019年5月11日一部改正。

2020年11月15日一部改正。

2021年3月13日一部改正。

2024年3月10日一部改正

2024年5月4日一部改正

別紙 原稿執筆の要領

I 論文の体裁

1. 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて16枚以内（スペースを含む16,000字以内）とする。これを超えるものについては受領しない、もしくは短縮を求める。図表の目安は、1ページ全体を使用した大きさの場合は800字換算、1/2ページ程度の場合は400字換算とする。
2. 250 words 以内の英文抄録並びに400字以内の和文抄録をつけること。「活動報告」は英文抄録を省いてもよい。和文抄録と英文抄録の構成は、目的 (Objective)・方法 (Methods)・結果 (Results)・考察 (Discussion) にわけて、見出しをつけて記載する。英文抄録はネイティブチェックを受ける。
3. 原稿の終わりに謝辞などの項を設けることができる。
4. 原稿は原則として、パーソナルコンピューターなどのソフトウェアで作成する。
5. 原稿はA4判横書きで、1行の文字数は25字、1ページの行数は32行（800字）、余白は左右上下35mmとし、適切な行間をあける。和文の句読点は全角の「,」と「.」を用い、英文の句読点は半角の「,」と「.」を用いる。

II 表記

1. 文の見出しは、以下に示す階層で構成する。見出しに付ける数字・記号、およびピリオドは全角を使用する。

・第1層	I. II. III.	中央揃え
・第2層	1. 2. 3.	左端揃え
・第3層	1) 2) 3)	左端揃え
・第4層	(1)(2)(3)	左端揃え
2. 数字や記号(%など)、アルファベットは、原則として半角とし、括弧は全角とする。統計記号として用いる文字は、イタリック体とする (*N*, *M*, *SD*, $p < 0.05$, *t*-test など)。但し、ギリシャ文字 (α , β , χ^2) はイタリック体を使用しない。有意水準と図表におけるアスタリスク (*) について、*p* は小文字・イタリック体とする。「*」は他の記号で代替しないが、2種類の差異が記載される場合は、他の記号を用いても良い。
3. 外国語はカタカナで記載し、外国人の名前や日本語訳が定着していない学術用語などは、原則として活字体の原綴で書く。
4. 年の表記は、原則として西暦を用いる。元号表記は、行政資料の名称など必要な場合のみとする。

III 図表の体裁

1. 図、表および写真は、図1、表1、写真1などの通し番号をつける。また、本文とは別に一括し、画像や写真は、300dpi以上の解像度のものを用いる。本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を記載する。
2. 図や表を引用・転載した場合は、投稿前に著作権者の許諾を得て、図や表の下に出典を明示す

る。図表の記載方法は以下の通りとする。

1) 既存の表やグラフを引用して改変した場合

出典を明示し、「～より引用改変」と記載する。

2) Web サイトの図を引用する場合

著者名, Web ページのタイトル, URL, 最終アクセスの年月日

3) 論文の図を引用する場合

著者名, 発表年, 論文のタイトル, 掲載誌名 (+巻数), 所在ページ

4) 書籍から図を引用する場合

著者名, 出版年, タイトル, 発行所

3. 表の罫線は必要な横罫線にとどめ, 縦罫線は使用しない。縦罫線のかわりに十分な空白をおく。表には N を入れ母集団が分かるようにし, 表中の語は簡潔に記載し, 単位も明瞭に示す。表注には, 一般注, 特定注, 確率注の 3 種類があり, 表の下に表示する。一般注は表全体にかかわる情報, 特定注は特定の列, 行またはセルに関する注釈, 確率注はアスタリスクやほかの記号が表中で P 値および統計的仮説検定の結果を示すためにどのように使用されているのかを示す。表注は, 一般注, 特定注, 確率注の順序で並べる。記載例を以下に示す。
4. 表及び写真以外のグラフやフローチャートなど, 不定形なものはすべて図とする。

表 1 他者とのかかわりと性別との関連

($N=220$)

他者とのかかわり		男性		女性		p
		($n=89$)		($n=131$)		
		n	(%)	n	(%)	
近所づきあい	あり	49	(55.1)	73	(55.7)	0.123
	なし	40	(44.9)	58	(44.3)	
趣味の集まりへの参加	あり	28	(31.5)	37	(28.2)	0.582
	なし	61	(68.5)	94	(71.8)	
町内会活動への参加	あり	38	(42.7)	40	(30.5)	0.054
	なし	51	(57.3)	91	(69.5)	
老人クラブへの参加	あり	51	(57.3)	44	(33.6)	<0.001
	なし	38	(42.7)	87	(66.4)	
職場のOB会への参加	あり	6	(6.7)	5	(3.8)	0.347 ^a
	なし	83	(93.3)	126	(96.1)	

注) 検定方法 χ^2 検定

^a: Fisher's exact test

IV 文献

1. 文献の記載方法は以下のとおりとする。

- 1) 文献については, 本文中に著者名, 発行年次を括弧表示する。著者が複数の場合には「～ら」または「～et al.」と筆頭著者の姓を記載する。

例) 「・・・重要性が示唆され (湯沢, 1997), ……」

「・・・に関する文献（田中ら，2010）・・・」

「・・・上田（2001）の定義する・・・」

「・・・Davis et al.（2014）の研究では，・・・」

- 2) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。但し，共著者は3名まで表記し，3人の著者名+『，他』とする（以下の例を参照）。英文の文献で著者が4人以上の場合は，3人の著者名+『，et al.』とする。
- 3) 本文中に複数の文献を引用した場合は，引用文献リストと同じ順序でアルファベット順に並べる。異なる著者による複数の著作を同じカッコ内で引用する場合は，カッコ内に第一著者の姓のアルファベット順で文献を並べ，セミコロンで文献を区切る。同じ著者による複数の文献は発行年の順に配置する。印刷中の文献の引用は最後に置く。

例) ……保健師の専門能力（岡本ら，2007；佐伯ら，2004；塩見ら，2016）が示されている。……に関する研究（山田，2011，2013，in press）では，……

- 4) 同一著者による，同じ年に発行された異なる文献を引用した場合は，発行年のあとにアルファベットを記し，これらの文献を区別する。本文末の文献リストにおいても，同様の扱いとする。共著の場合は第2著者のアルファベット順，第2著者が同じ場合は第3著者のアルファベット順で並べる。著者が同じ場合はタイトルでアルファベット順に並べる。

例)

・蔭山ら（2015a）は……の重要性を指摘している。また，……について，……が報告されている（蔭山ら，2015b）。

- 5) 同一書籍において引用箇所の著者が異なる場合は，これらの文献を区別して記載する。本文末の文献リストにおいても，同様の扱いとする。

例)

・質的研究には……の特徴があり（グレック，2016），特にグラウンデッド・セオリーアプローチは…に適し，…のような方法と手順を用いる（萱間，2016）。

- 6) 同一著者による同一書籍において異なる箇所を引用した場合は，これらの文献を区別し，本文中に著者名，発行年次，最初のページ数を括弧表示する。本文末の文献リストは，著者名，書名，引用した複数箇所のページ数，出版社名，発行地を記載する。

例)

・エスノグラフィーとは…であり（麻原，2016，p.99），その主な特徴は…である（麻原，2016，p.103）。

- 7) 投稿論文の査読は，著者名などを匿名にて行うため，本人の著であっても「筆者」「拙著」などとせず，筆者名による表記とする。

【雑誌掲載論文】

・著者名（発行年次）：論文の表題，掲載雑誌名，号もしくは巻（号），最初のページ数－最後のページ数。

例)

今野浩之，栗田敦子，鈴木育子，他（2023）：新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔実習を主体とした地域看護診断を主要な目標とする実習の試み，保健師教育，7(1)，

71-79.

Keller L. O., Schaffer M. A., Schoon P. M., et al. (2011): Finding common ground in public health nursing education and practice. *Public Health Nursing*, 28(3), 261-270. doi: 10.1111/j.1525-1446.2010.00905.x

【単行本】

- ・著者名(発行年次)：書名 (版数)， ページ数， 出版社名， 発行地.
- ・著者名(発行年次)：章などの表題， 編者名， 書名 (版数)， ページ数， 出版社名， 発行地.

例)

村嶋幸代， 鈴木るり子， 岡本玲子編 (2012). 大槌町 保健師による全戸家庭訪問と被災地復興：東日本大震災後の健康調査から見えてきたこと， 1-256， 明石書店， 東京.

佐伯和子 (2014)：第3章 地域全体への公衆衛生看護技術 3 社会システムへの働きかけ， 佐伯和子編， 公衆衛生看護学テキスト第2巻公衆衛生看護技術， 132-151， 医歯薬出版， 東京.

Stanhope M., Lancaster J. (2015): *Public health nursing: population-centered health care in the community* (9th edition). 20-30, Mosby, St Louis.

【翻訳書】

- ・原著者名 (原書の発行年次) / 訳者名 (翻訳書の発行年次)：翻訳書の書名 (版数)， ページ数， 出版社名， 発行地.

例)

Glanz K., Rimer B. K., Lewis F. M. (2002) / 曾根智史， 渡部基， 湯浅資之， 他訳 (2006)：健康行動と健康教育：理論， 研究， 実践. 217-236, 医学書院， 東京.

- 8) オンライン版で DOI のある場合は， DOI を記載する. なお， オンライン版で DOI のない場合は， アドレス (URL) を記載する.

- ・著者名 (発行年次)：論文の表題， 掲載雑誌名， 号もしくは巻 (号)， 最初のページ数-最後のページ数. doi：DOI 番号

例)

Davies N., Donovan H. (2016): National survey of commissioners' and service planners' views of public health nursing in the UK. 141, 218-221. doi: 10.1016/j.puhe.2016.09.017

- 9) インターネットのサイトなど， 逐次的な更新が前提となっている資料を引用する場合は， サイト名とアドレスを明確に記載するとともに， 検索した年月日も付記すること.

- ・著者名 (発行年)：表題， アドレス (検索日：年月日)

例)

厚生労働省(2013)：平成28年度保健師活動領域調査 (領域調査) の結果について， http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/hoken/katsudou/09/ryouikichousa_h28.html (検索日：2017年3月1日)

- 10) 辞書・辞典を引用する場合は， 著者名がわからないことが多いため， 監修・編者， 発行年， 辞書・辞典名， 出版社名を記載する. オンライン辞書・辞典の場合は， アドレス (URL) を記載する.

例)

新村出編（2008）広辞苑（第6版），岩波書店。

松村明（監修），池上秋彦，金田弘，他編（2012），デジタル大辞泉（第2版），小学館。
<https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=2001005220100>

IV 原稿提出時の留意点

1. 投稿論文はWordなどで作成し，次の順で並べ以下の3つのフォルダにまとめ，電子媒体に保存する．正本フォルダのなかには，1) 正本表紙，2) 本文・文献，3) ～5) 表，図，写真，の各ファイルを入れる．副本フォルダのなかには，1) 副本表紙，2) 本文・文献，3) ～5) 表，図，写真，の各ファイルを入れる．抄録フォルダのなかには，6) 和文抄録，7) 英文抄録，の各ファイルを入れる．

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 表紙：英文表紙も作成し，本文とは別のファイルに保存する（ファイル名を「正本表紙」「副本表紙」とする）2) 本文・文献：通し行番号を第1ページからつける3) 表（Table）：1ページまたは1シートに1点とする4) 図（Figure）：1ページまたは1シートに1点とする5) 写真（Photo）：1ページに1点とする6) 和文抄録：本文・文献とは別のファイルにし，ファイル名を「和文抄録」とする7) 英文抄録：本文・文献とは別のファイルにし，ファイル名を「英文抄録」とする |
|--|

2. 原稿は，本文・文献のページに通しの行番号（連続番号としてページ毎にふり直しをしない）を付けて印字する．